

## 新坂上発電所新設工事における土留めの崩壊 および市道（飛驒市）の損壊について

2021年8月10日  
関西電力株式会社

当社の新坂上<sup>しんさかがみ</sup>発電所（岐阜県飛驒市）の新設工事において、8月7日、発電所掘削用の土留めが崩壊しました。それにより、飛驒市の市道（岸奥～落合線<sup>きしおく～おちあい</sup>※）が約18mにわたり、損壊しています。

当発電所は、2024年8月の運転開始を目指し、本年3月より工事を進めていますが、損壊した市道については、当該工事の実施に伴い、飛驒市から道路占用許可をいただき、一般の方の立ち入りを禁止していました。

当該事象については、同日、飛驒市に対して、現地で状況を報告しており、損壊した箇所について、改めて、立入禁止の措置を実施させていただいています。

なお、現時点で、怪我人は発生しておらず、河川への土砂の流出等の影響はありません。

関係者の皆さまには、ご迷惑とご心配をおかけし、深くお詫び申し上げます。

現在、応急復旧中ですが、今後、原因の調査および再発防止に努めてまいります。

※「岸奥～落合線」は、国道360号線の旧道であり、当社のダム管理以外での利用は少なく、周辺住民の方々に大きな支障はないと考えています。

以上

添付資料：新坂上発電所新設工事における土留めの崩壊  
および市道（飛驒市）の損壊について

# 新坂上発電所新設工事における土留めの崩壊および市道（飛騨市）の損壊について

【発電所の位置図】



※飛騨市の市道「岸奥～落合線」は、国道360号線の旧道であり、当社のダム管理以外での利用は少なく、周辺住民の方々に大きな支障はないと考えています。

【土留めの崩壊の状況】



※坂上ダムのえん堤から撮影

【市道の損壊の状況】

